

助成受給団体名	ふりがな みなみそうまちくぼうはんきょうかいれんごうかい 南相馬地区防犯協会連合会
事業の名称	南相馬警察署管内における防犯意識向上のための活動支援事業
実施期間	平成25年11月1日から平成26年3月31日
実施した事業の内容	管内に所在する応急仮設住宅や金融機関、官公庁等に対し、震災に乗じた各種犯罪の未然防止、住民一人ひとりの防犯意識向上、住民相互間の連帯感を高める目的で、防犯カラー反射立て看板を78枚購入し、各仮設住宅の集会所、金融機関、官公庁などに設置するとともに、継続的な立ち寄り警戒を実施し、住民の体感治安向上に努めた。
事業の成果	看板設置の際、人目につきやすい目立つ場所を選定したことで、「付近を通る度に目にとまり、とても安心できる」等の意見が寄せられた。 仮設住宅居住者からは、「看板の設置により、警察と住民が一体となって、防犯活動に従事している様子が伺える。更に安心感が高まった。」との声が聞かれ、金融機関や官公庁からは、「利用者だけでなく、我々職員も看板を見ることで安心している。警察官等が立ち寄り警戒してくれることでより一層心強い。」との感想が挙げられた。 物品の交付を通して、住民らの防犯に対する意識が高まっており、今後、大型スーパーや学校等においても、店員、学生らと共同による防犯活動を実施していきたい。
今後の課題	管内設置の全仮設住宅に対しては、立て看板を設置できたものの、金融機関、官公庁については全てに設置することができない状況である。 そのような仮設住宅に対しては、制服警察官や自主防犯パトロール隊員等による立ち寄り警戒を強化し、見せる警戒活動によって、体感治安向上に努める。

2014年(平成26年)1月23日(木曜日) (16)
小高区役所に設置された看板と市職員

南相馬市小高区役所

防犯標語の看板作成

浜通り

南相馬署と南相馬地区防犯協会連合会は、11日、同管内で防犯標語をかかれた立て看板の設置を始めた。市民の防犯意識向上が狙い、日工組安全会財団の東日本震災に伴う助成金を受けて初めて78枚作成した。初日は署員が南相馬市の小高区役所の入り口に看板を取り付けた。立ち会った市職員は「難が続き市民の安心感が続くと期待を込めた。看板は同管内の交番と駐在所計七カ所をはじめ、市内の仮設住宅や市役所などへ三月中旬まで設置される。

た。高さ約百六十センチ、幅約四十センチ、蛍光色の緑を背景に「みんなであつた安心の街」と「街頭犯罪等防止対策実施中」「防犯パトロール実施中」と書かれた三種類を用意した。

3種類、78枚

管内で設置作業

南相馬署と地区防犯協連

管内で設置作業